

# 暮らしの コーディネート ～第7回～

今月のKEYWORD

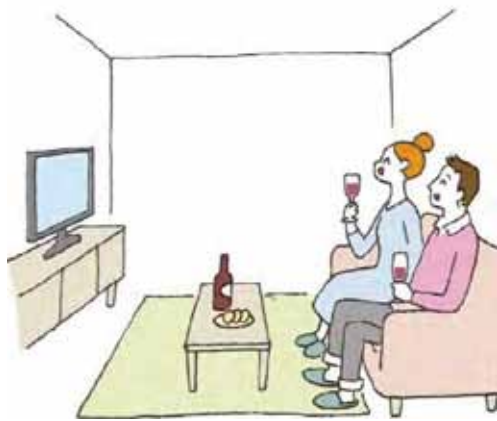
## 『ベターライフ』

直訳すると「より良い生活」。一人一人のより良い暮らしを追求し、以前よりも質の高い生活を実現しようという考え方です。シーンに応じて居心地のいい場所をつくったり、コミュニケーションを取り合える共通の時間を持ったり。日頃やったことのないことをすることで、新たな気づきを見つけることが、ベターライフのコツかもしれません。

# 心地よい距離感のある住まい

### 夫婦間のギャップが窮屈に？

子どもたちが巣立った後に始まる、夫婦の二人暮らし。女性は子育てが終わると同時に少しずつ自由な時間を持ち始め、暮らしの楽しみ方を上手にみつめることができそうですが、男性は新しい暮らしに戸惑う人も多いように思います。



時間を持って余しがちな男性と、一人の時間を大切にしたい女性。このギャップが暮らしを窮屈にしてしまう原因かもしれません。

夫婦二人で暮らすシニア世代を、パナソニックでは「フタリエ世代」と呼んでいます。フタリエ世代の暮らしに大切なのは二人の「距離感」です。常に二人で一緒に過ごさなければいけないわけではありません。時に近づき、時に距離を取ることで、快適な二人暮らしが実現します。

### 円満の秘訣は二人の「距離感」

特に最近、フタリエ世代の住み替えや、リフォームのニーズが高まっており、距離感を大切にしたいベター

ライフを送りたいという要望が強くなっていることが伺えます。

ニーズの一例を挙げると、寝室の一角にスモーク調ガラスの引き戸で仕切った書斎コーナーを設置する。奥様が先に眠る時は扉を閉めて寝室のあかりをOFFにしても、お互いの気配を感じながら過ごすことができます。

環境を変えることでご主人にも家事に参加してもらうためには、キッチンやリビングがオススメです。ふたり並んでゆったり過ごせるレイアウトに変更することで、料理も片付けも一緒に楽しめます。

このように、自分たちにとっての快適なベターライフを実現できるといいですね。